

きいて・めもして・こたえよう

じゅうさい きねん ぶんしゅう か かた
十才記念文集の 書き方

なまえ
名前

聞くめあて 作文の「組み立て」「字数」「しめきり」を、分けてメモしましう。

おとさない言葉：組み立て・字数・しめきり

放送が終わったら、開いて問題に答えましょう。

(1) 作文は、三つのまとまりで考えます。「はじめ」に書くのは、何ですか。

(2) 作文の字数は、原こう用紙で、どれくらいがよいと言っていましたか。

(3) 作文のしめきりは、いつですか。○をつけましょう。

ア 来月の一日

イ 来月の十日

ウ 来月の二十日

(4) 十才記念文集について、聞いておきたいことを、一つ「しつものの文」で書きましょう。

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする（問題を先に見せない）。
- ② この放送文を先生が読む（または用意した音声流す）。読む回数：2回。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

二分の一成人式において、「十才記念文集」を作ります。今日は、その文集にのせる、作文の書き方を説明します。よく聞いて、すてきな作文を書きましょう。

作文の組み立ては、三つの、まとまりで考えます。はじめは、小さいころの思い出。中は、今、がんばっていること。おわりは、これからのゆめや、目標です。この三つを、じゆんに書きましょう。

字数は、原こう用紙で、二まいから、三まいくらいがよいでしょう。多すぎても、少なすぎても、読みにくくなります。だいじな思い出を、えらんで書くことが、こつです。

作文の、しめきりは、来月の十日です。それまでに、下書きをして、まちがいがいいか、たしかめてから、書きましょう。心をこめて書いた作文は、きっと、一生のたからものになりますよ。

メモのれい

十才記念文集の作文の書き方（二分の一成人式）

組み立て三つ：はじめ＝小さいころの思い出／中＝今がんばっていること
／おわり＝ゆめ・目標

字数：原こう用紙 二～三まい（多すぎ・少なすぎNG）

しめきり：来月の十日／下書きしてから書く

こたえと かいせつ

（1）小さいころの思い出

「はじめは、小さいころの思い出」と言っていました。中は今のこと、おわりはゆめや目標です。

（2）二まいから三まいくらい

「原こう用紙で、二まいから、三まいくらいがよい」と言っていました。

（3）イ（来月の十日）

「しめきりは、来月の十日です」と言っていました。

（4）（例）題名は、自分で決めてよいですか。／絵はかいてもよいですか。

文集や作文に関係する「たずねる文（～ですか。）」になっていれば正解です。